

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.12)

2006.12.20

もくじ

1. 9月度 定期ボランティア活動・報告
＜お月見研修・自然観察・郷台宿泊＞
2. 11月度(第1回) 定期ボランティア活動・報告
＜秋の研修会聴講と一般公開準備作業＞
3. 11月度(第2回) 定期ボランティア活動・報告
＜千葉演習林・秋の一般公開サポートと秩父演習林ボランティア
”しおじの会”との交流会＞
4. 11月度～12月度のボランティア活動・報告
＜天津小学校・緑の教室サポート、演習林の案内活動2件＞
5. 2月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜歩道標識杭の補修整備＞
6. 平成18年度 定期総会および演習林を歩く
＜予定＞

9月度 定期ボランティア活動・報告

～お月見研修・自然観察・郷台宿泊～

ボランティア 佐々木 文子



郷台宿舎の前で記念撮影

9月9日(土) 10日(日)の2日間にわたっておこなわれた9月度 定期ボランティア活動に参加しました。今回は“お月見研修・自然観察”ということで、清澄宿舎から郷台林道を自然観察しながら歩き、郷台宿舎に宿泊してバーベキューやお月見をするという楽しい企画です。参加

者は職員の村川さんも含めて総勢 12 名で、村川さんの息子さんと私の息子も特別参加をしました。

9日の午後1時に清澄宿舎に集合して、今日のコースや見所の資料を受け取り、参加者の自己紹介をしてから目的地の郷台宿舎に向けて歩き始めました。夏の名残で少し暑いほどですが、まあまあの天気です。

清澄宿舎と郷台宿舎を結ぶ約6.6kmの林道は郷台林道で、春・秋の一般公開のコースである猪ノ川林道につながる千葉演習林の主要林道のひとつです。清澄宿舎から演習林の2番目のゲートまではNO.22 関東ふれあいの道“モミ・ツガの道”になっていて、車では入ることが出来ませんが、特別に演習林の許可がなくてもハイキングは楽しむことができることを知りました。



郷台林道から山々を眺める皆さん

このコースは見晴らしが良く、南房総特有のモミ・ツガの巨木と常緑樹でおおわれた山並みを望むことができ、近所ならいつでも散策したい所です。しかし、あまり多くの人が入るのも山が荒れてしまう原因になり困るなと思ったりもしました。



キウイの仲間では食べられるサルナシの実

普段、名前は聞いたことがあるが見たのは初めてという植物が多く、サルナシやバリバリノキという名前の植物も初めて現物を見ました。秋の気配が漂い始めたのかハゼの葉先が赤く一部分色付いていました。

荒檜沢のモミ、ツガの天然林やスギの人工林を眺めたり、林道に落ちているまだ青いドングリの付いたアカガシの枝を観察したりしました。枝の切り口は、まるで鋏で切ったようにみごとに切

られています。これはハイイロチョッキリという甲虫の仕業だそうです。さらに進み、両側の植物などの観察をして午後4時頃に郷台宿舎に到着しました。

先に車で荷物を運んでくれた職員の村川さんと近藤、恵さんたちが夕食のバーベキュー

の準備や冷たい飲み物の用意をして待って来ていました。

皆でお月様を迎える準備です。

台の上に太い竹製の花瓶にススキを5本さして、お団子も15ヶ重ねるといふ本式の形です。お団子の並べ方は1段目が3×3の9ヶ、2段目が2×2ヶの4ヶ、3段目が縦に2ヶ、合計15ヶ並べるのが正式の方法であると石川さんに教えてもらい、幼少の頃に疎開先の祖母の家で飾った時以来のことになつかしく思い出しました。



お月見だんごを並べています

炭の火おこしから始まり、次々に肉や野菜のバーベキューがで

きあがっておいしく食べながら、話ははずみ、後はお月様の登場を待つばかりです。

郷台宿舎は東側に大きな木があるので、月の出るのは思いのほか遅く、9時近くになってやっと木の間から顔をのぞかせました。月明かりを久しぶりに実感し、節約を兼ねてソーラー発電の電灯を一時消灯し、しばし月がゆっくりと上がってくるのを眺めます。街中でみる月と違う姿に感激しました。一昔前のよき時代の場面を思いおこし、今回の活動に感謝します。

翌日の10日は晴天となり、暑い陽気となりました。朝食をすませ、後片付けを済ませてから、郷台宿舎の周囲の自然観察をしました。今回は特に周囲の樹木を詳細に見てまわりました。この周りを見本林の性格もあるので、外国産のセンベルセコイア、テーダマツなどや貴重なヒメコマツも観察しました。またモウソウチクの開花寿命の研究地や山の斜面に33品種のスギが縦に植えられている相ノ沢のスギ品種展示林を遠望しました。この展示林は千葉演習林の案内資料の表紙にもなっている所で、冬になると品種によって微妙に色が変わって縞模様になりすばらしいとのこと、またその時期に是非見たいものです。

その後、郷台宿舎の前の坂を少し下って牛蒡沢のスギの美林を観察しました。このスギは樹齢100年をこえ、高さは50mにもなる見事なものです。

林道を歩きながら思ったことですが、本当に自然は四季折々に目を楽しませてくれて本当にありがたいことです。

千葉県の身近な自然も年々なくなったり、あっても荒れ果てていたりするのを見ると、せめてこの千葉演習林の森はこのままで守るべきであると切に思いました。

ほぼ予定通り午後2時頃に出発点の清澄宿舎に到達し、充実した気持ちで帰路につきました。職員の村川さんには荷物の運搬のための車の運転、夕食の準備などでお世話になりました。

また、今回は特別に息子も参加させていただき、森林浴をしながらのお月見ができ、会員の皆さんにも共々お世話になり、ありがとうございました。

11月度(第1回)定期ボランティア活動・報告

～ 秋の研修会聴講と一般公開準備作業～

ボランティア 藤田 貴樹

11月7日(火)、8日(水)の2日間にわたって秋の研修会と定期ボランティア活動が行われ、石川夫妻、恵、西山、田生さんと藤田(貴)の6名が参加しました。田生さんは7日の秋の研修会のみ参加です。

7日の午前中は労働災害の防止を目的とした「林業作業におけるチェーンソー・ワイヤーロープ使用時の安全確保」ビデオの視聴があり、続いて演習林技術職員による各地区研修発表が行われました。チェーンソー・ワイヤーロープの安全について、実際にあった死亡事故等の事例をもとに、ダミーの人形を使っての迫力のある再現実験が紹介されましたが、作業時には気を緩ませてはいけないことを改めて痛感させられました。

今回は夜の懇親会が中止となり代わりに昼食会を行ないました。皆でカレーとキンメダイをいただきました。ちなみにキンメダイは山の神様へのお供え物のお下がりです。山の神様へのお参りは朝一番に済んだそうなので、千葉演習林ボランティア会 Abies の参加者も遅ればせながら昼にお参りに行きました。今年は8月24日の活動で山の神様の祠に至る階段の補修を行いましたので、急な参拝路も安全に登ることが出来て、山の神様にも喜んでいただけたかと思っています。

午後は引き続き技術職員の発表の続きと、演習林教員の学会発表報告を聴講しました。

他の大学の演習林で、借地の契約期限がまもなく終了することへの対応や財政難によって手放す例などが紹介され、演習林の運営も大変な時代であるとの認識をしました。

翌8日の午前中は秋の一般公開の緊急連絡用に使う電話線の架設作業を行いました。10月15日の事前活動でバラバラになっていた線は全部つなげ、大きなポピン(糸巻き)にまきつける作業をしてありますので、これを車に積んで、解きながらの架線作業です。

作業が終わり通話確認を行いました。残念ながらうまく通話できません。時間もないのでとりあえず電話機を撤収し、後日原因調査をすることになりました。

後日談ですが、郷台作業所へつながっているNTTの電話線から、入口の加勢林道、袋山沢水文試験地、柚ノ木歩道下の3ヶ所に分岐して接続してもらうことが出来る様になったとのことを聞いて先ずはひと安心しました。

ボランティア活動はここで終了ですが、午後から岩崎、相川さんも参加して役員会がおこなわれました。議題は秩父演習林ボランティア会“しおじの会”との交流会への対応です。せっかく来ていただくので喜んで帰ってもらえるように、対応内容および担当分担を決めました。



発表のあったヘリコプター集材の様子

11月度(第2回)定期ボランティア活動・報告

～千葉演習林・秋の一般公開サポート～

～秩父演習林ボランティア会しおじの会との交流会～



事務局 石川 輝雄

恒例の千葉演習林・秋の一般公開には5日間で延べ10,077人の方々においでいただき、過去最高の人数となり盛況に終わりました。

特に本年は前後して秩父演習林ボランティア“しおじの会”との交流会や自然観察グループの特別案内などが重なり、会員の皆さんには色々のご苦勞をかけた。

千葉演習林ボランティア会 Abies としても、述べ14名、平均4.4名の多くの会員参加があり活躍されました。「演

習林ガイドブック」も好評で、新たに今年から始めた演習林の「オリジナルカレンダー」も売り切れとなりました。

今回は遠路、福島県から11月24日から26日まで参加いただいた藤田和孝さんに感想を述べてもらいました。

ボランティア 藤田 和孝

11月24日(金) 好天。福島県・西郷(にしごう)バスストップ7時42分発の新越谷行きバスに乗車した。西方の那須連峰の峰も晴れ渡り、2年ぶりに訪れる演習林へのドキドキ感を胸に、2泊3日のザックを肩にいつしか眠りについてしまった。

岩崎会長の待ち合わせ情報に従い、東京駅からバスにて木更津・金田バスターミナルへは何と40分足らずの速さで着き、浦島太郎気分であった。バスターミナルでは岩崎会長が自らお待ちくださり、車で清澄の作業所に向かう。松戸在住時代のとき通った遠くて狭くて長かった千葉・上総の山道も会長と話題に花が咲き快適にドライブする。午後2時過ぎ

に清澄着。演習林の根上さん、会員の石川夫人、恵さんが受付に。野崎さん（初対面）、西山さんと再会する。夜の交流会まで、相川さんご要望の鯨のたれなどの買出しにでかける。日没ごろから清澄の食堂で交流会が始まる。秩父演習林ボランティアの“しおじの会”からは25名が参加し、当方は演習林の根上・村川さんのお二人。Abies会は岩崎会長、石川事務局長、同夫人、相川さん、恵さん、西山さん、野崎さん、私の8人で総勢35人となった。岩崎会長のユーモア溢れる歓迎の辞、石川事務局の千葉演習林と千葉演習林 Abies会の丁寧な紹介、そして西山さんの乾杯の音頭で交流会はスタートした。

各テーブルに2名内外のAbies会メンバーが“しおじの会”の方々のグループに混じり、海の幸でしばし歓談する。我々のテーブルには私と野崎さんが座る。我々のテーブルの“しおじの会”の方々は仲間同士で入会されたそうで、乾杯のビールをあっという間に飲み干すと、すぐに地酒に口がつき、いずれも酒豪ぞろいであった。

秩父演習林での活動ではこんな話があった。一番遠いところは、3時間歩いて、30分活動して又3時間歩いて帰る。拠点の事務所は西武秩父駅から歩いて5分位の所とのことで首都圏からも行きやすく、会員にも首都圏の方が居るとのこと。会員は現在60名位いる。

入会は10回の講座を受講することが条件で、入会待ちの方が控えているということです。

“しおじの会”の方に秩父式のしめをしてもらい、宴の場は2階和室に移動する。外の鹿の鳴き声も聞こえず、清澄の夜に秋の深まりを感じる正気を失い酔眠にはいる。



交流会での「秩父じめ」

“しおじの会”の近藤世話役の言葉で、他を見なければ分からぬ。見る事が大事。“しおじの会”に無いものが一杯ある。千葉に来て良かった。ぜひ秩父も見てくださいとの、お開きの言葉をお伝えして交流会報告とします。

11月25日（晴れ）・・・秋の一般公開サポート

（メンバー）演習林：村川さんはじめ6名、Abies：岩崎、石川夫妻、野崎、私の5名
砂防関係学生2名、千葉県森林インストラクター会2名



猪ノ川林道を歩く一般公開来場者

7:30 清澄発。黒滝ゲート手前約1km位の加勢林道入口が拠点。昨年の黒滝ゲートの部分は崩壊の危険がありここに移動した。

テントを立てた後、打ち合わせ、役割を確認する。

受付のテントで「演習林ガイドブック」と「カレンダー」の販売に石川婦人と野崎さん、巡回に石川さんと岩崎さん、私は新田の簡易トイレの水補給も役割。ここは補給の水場が遠く大変だった！

この日の来場者2950余名で今年最高。柚子ノ木歩道の地蔵峠への登りは湿っていて滑りやすかった。

9時の開門前から数人が早くも来場。テント場で10分前まで待ってもらう。

私は岩崎さんと地蔵峠へ。途中、紅葉はあるが、鮮やかさが無い。福島の紅葉も今年と同じだ。今年の紅葉は何処も今ひとつのようだ。

しかし、2年ぶりに参加をする私には新鮮。洗濯板のような川床。水回しの水路。自然に掘れたような川のトンネル。メタセコイアの木があったなんて・・・！

(覚えていない)

常緑広葉樹と落葉樹の織り成す自然のもたらしてくれるハーモニーにサポートを忘れてお客様気分ですく。

地蔵峠までの道のりも記憶は忘却の彼方で、あらためて記憶する。峠で、しばらく様子を見て戻る。途中、杉林の急坂で内浦山県民の森の200名の団体とすれ違うのに時間を要す。そこから、単独で地蔵峠へ引き返す。地蔵峠には係りが誰も居ず、これだけの人数では溢れると混乱しそうな気がするが、幸い、皆さんマナー直しく、混乱は無かった。しかし一部、林道を外れて尾根筋に入ったり、携帯

バーナーで鍋を暖めたりする人があり、軟らかに中止をお願いする。混雑の予想される昼過ぎまで待機し、3 時ごろ受付のある加勢林道入口へ下山。テント場は北向きで陽が当たらず底冷えがしていた。野崎さんはしきりに寒い、寒いを繰り返していた。

11月26日（晴れ、ただし雲は多いが25日より暖かい）

（メンバー）演習林：根上・山中さんはじめ6名、

千葉県森林インストラクター会4名、NPO法人 房総の野生生物調査会1名

千葉演習林ボランティア会 Abies：岩崎、野崎、近藤夫妻、私の5名

今日は地蔵峠に張り付く。来場者は2500余名。そのうち地蔵へ登る人

は700名ぐらい。団体が多い。今日の登り道は昨日より滑りにくい。

地蔵峠は眺めが樹林で遮られ、三石山観音寺へ向かう途中に樹林越しに眺

める場所が何箇所かある。地蔵峠で多かった質問は

- ・ここから上総亀山駅へ出るのに三石山観音寺経由と戻るのどちらが短時間か、どちらが楽か
- ・三石山観音寺はどちらか、時間はどのくらいかかるか？
- ・地蔵峠のお地蔵さんは何処にあるのか
- ・眺めが良くない
- ・広場とはどこか（実際は狭い林道の横に座るしかない）
- ・元清澄山へのコースはどんな状態で時間はどれくらい時間が必要か
- ・演習林とは杉や檜を育てているのではないのか、こんなほったらかしで良いのか（この方には以下のようにお答えしました。演習林とは、そのような林業もおこなっていますが、自然の姿を観察して人との関わり、生き物の様子などを研究し、広く世の中の役に立つよう考えています。）
- ・ヤマビルはいないか
- ・バイオマスとしてこの森を活用しないか

（私には難しすぎたので演習林の担当者にお伝えします。・・・、村川さん、



可憐なりンドウの花

根上さん宜しくお願ひ致します)

・来る途中にあった白い実をつけたのは何ですか？

<イズセンリョウ 鹿が食わないので生き残っています でも、センリョウ科ではなく、マンリョウと同じヤブコウジ科とのこと>

.....

こうして2日間のサポートも無事終了した。岩崎さんのご好意で帰りも木更津、金田バスターミナルまでお送り頂き、たくさんの思い出を胸に福島へ帰りました。この場をお借りして、演習林の職員の皆様、千葉演習林ボランティア会 Abies の皆様へ篤くお礼申し上げます。ありがとうございました。

11 月度～12 月度のボランティア活動・報告

～天津小学校・緑の教室サポート、演習林の案内活動2件～

事務局 石川 輝雄

1. 天津小学校 緑の教室 サポート活動

10月20日(金)に清澄管内で地元の鴨川市立天津小学校5年生の生徒を対象にした公開講座 緑の教室(ふれあいポケット)が行われ、ボランティア会としてサポート役に恵さんと石川の2名が参加しました。天津小の児童参加者は生徒34名、その保護者34名と引率の先生4名の合計72名です。

午前9時30分に清澄宿舎の前で開校式がおこなわれた後、四班に分かれて森林観察(東漢森 今澄 荒檜沢地区をめぐる)と森づくり(清澄寺の千年杉の観察、毘沙門地区の実習地でのコナラのドングリの種まき、木の伐採と枝打ち機の見学、ぶり縄による木登り体験)を体験しました。昼



丸太切りの様子

休みには丸太切りの体験会もおこなわれ、めいめい一生懸命に汗を流し、自分の切った木を大切に持ち帰っていました。

ぶり縄による木登りは私たちも手伝って職員の指導と安全確保のもとに全員が体験しま

したが、怖かったのか、感動したのか下りてから泣き出して
しまう子供もいました。

良い体験になったと思われます。

15時30分に閉校式が行われ、小学生代表のお礼の言葉
をもって終了しました。

なお、この行事に使う毘沙門地区の実習地については、1
0月15日(日)のボランティア活動で米倉さんと石川の2
名が参加して草刈と整地作業を行っていますが、何処からか
動物が入ったらしく例年より、草も少なくてせっかく子供た
ちが植えたコナラの苗も少なくなっていました。



ぶり縄による木登り

2. 千葉演習林の案内活動

演習林で自然観察会を希望する団体に入林を認める条件の一つに、千葉演習林フィールドガイド登録グループのスタッフが同行することという条件があります。千葉演習林ボランティア会 Abies もこの登録グループに任命されています。

今回この目的に添って演習林が許可をした2団体の案内をしましたので内容紹介をしま
す。

1) 三和コミュニティーセンター

*目的 紅葉を見るハイキング

*コース 秋の一般公開コース(猪ノ川林道~柚ノ木歩道) 三石歩道 片倉ダム

*日時 平成18年12月1日(金) 下見10月25日(水)

*参加者 43名

*Abies 案内 2名(石川、恵)

上総三又駅の近くの三和コミュニティーセンターの駐車場から中型バスに同乗する。
演習林と協力して「演習林ガイドブック」と「カレンダー」を販売する。

ハイキング指導員の方がつき、メンバーも慣れた方が多い。予定より終点の“ふれ
あいパーク君津”への到着時間が1時間ほど遅れたが問題もなく無事終了した。今
回は山路を片倉ダム側としたが、上総亀山駅側へ降りるより変化があってよかった。

2) ちばコープ

*目的 自然観察会 (北総地域と異なる南房の植生の違いの観察)

*コース ・清澄寺と一杯水林道途中までを往復

・森林博物資料館の見学

・東漢森 今澄 荒檜沢 郷台林道

*日 時 平成18年12月7日(木) 下見11月27日(月)

*参加者 26名

*Abies案内 3名(石川、相川、白石(房))

千葉駅東口NTT前より小型バスに同乗する。バス内で演習林や南房地区の植生についてキーワードの資料を配って説明する。「演習林ガイドブック」と「カレンダー」も併せてPRして、清澄宿舎に村川さんに来てもらって販売する。人数が多いので2班(13名ずつ)に分けて、石川と相川さんがガイドした。他の



バクチノキの説明を聞く参加者

自然観察会での知り合いもいて、知識豊かな参加メンバーなので個々の説明より、全体の植生と観察の場の提供・ヒントを示すことに重点を置いた。清澄作業所の周囲に植えてあるセンペルセコイア、バクチノキ、キヨスミミツバツツジ、ヒカゲツツジ、コウヨウザン、マルバチシャノキ、セッコク、マメツタ、アスナロなど見本樹や南房固有種を中心に個々紹介する。

観察コースではモミ、ツガ、カヤ、イヌガヤ、ヒノキなどの針葉樹やアカガシ、アラカシ、ウラジロカシなどのカシ類、カゴノキ、シロダモ、ヤブニッケイなどクス類など清澄地区の代表樹の特徴と見分け方を勉強する。その他コショウノキ(花)、オニシバリ(葉)、カンアオイ(花)、シタキシソウ、ヤナギイチゴ、イズノシマダイモンジソウ(名残)、ケイワタバコ(葉のみ)、ツルアリドウシ(実)、リンドウ、などを確認した。

2月度 定期ボランティア活動・募集案内

～ 歩道標識杭の補修整備 ～

2月度の定期ボランティア活動は歩道標識杭の補修整備活動をおこないます。作業歩道はN線(石尊山から麻綿原)を予定していて2月8日は杭の準備作業、9日は設置作業となります。自然観察コースとしても楽しめる歩道ですので多くの参加をお願いします。今回はNPO法人 房総の野生生物調査会との共同活動となります。

日 時 平成19年2月8日(木)～9日(金)(宿泊)

- 集 合** 清澄作業所 8日 9:40 (9日のみの日帰り参加の場合は9:00)
- 解 散** 清澄作業所 9日 16:00頃
- 内 容** * 2月8日 標識杭の準備(番号を焼き印で表記する作業)
* 2月9日 標識杭の現場への設置作業
- 人 数** 9名 原則として先着順
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎(04-7094-1990)
- 参加費** 2,240円 宿泊費(夕食・朝食・2日目 弁当含む)
- 持ち物** 筆記用具、弁当(1日目のみ)、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、会員証、宿泊用持ち物など
- 雨天時** 状況により対応
- 受付期間** 平成19年1月15日(月)~1月25日(木)
- 申込方法** 電話、FAX、E-Mailのいずれかで申込みください。
参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込み問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

平成18年度 定期総会および演習林を歩く ~ 予 定 ~

平成18年度の千葉演習林ボランティア会 Abies の活動は1月のシカの生息数調査と2月の標識杭の整備作業をもって終了となります。定期総会を3月に開催しますので都合をつけていただき、多くの会員の参加をお願いします。詳細は後日ご案内します。

* 定期総会予定日 平成19年 **3月10日**(土)

* 演習林を歩く 平成19年 **3月11日**(日)

10日夜に宿泊して懇親会を行う予定です。

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.12 2006/ 12/20 発行

* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621

FAX:04-7094-2321 E-Mail:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp